

特定複合観光施設区域整備計画審査委員会（第35回） 議事要旨

1. 日時：令和5年10月12日（木）17:30～19:30
2. 開催方式：WEB会議
3. 議題：
  - (1) 事務局からの説明事項（認定された区域整備計画の状況等）
  - (2) 今後の進め方
4. 出席委員：竹内健蔵委員長、山内弘隆委員長代理、朝岡大輔委員、河島伸子委員、樋口進委員、矢ヶ崎紀子委員
5. 議事要旨（✓：事務局 ○：委員）

【長崎の審査について】

事務局より、要求基準に関する質問回答の状況を報告し、審査の論点や、今後の審査の進め方等について説明を行った。

- 資金ストラクチャーの変遷を仮に許容する場合でも、過去にレターを提出していた者が撤退していることなどを踏まえると、資金調達の確実性について不安が残る。これは事業面での運営能力にも関係する話であり、核となる主体についても確認できるかどうかヒアリングのポイントになると思う。
- ✓ ご指摘いただいた点を踏まえ、ヒアリングで確認していく。
- 新たにCASINOS AUSTRIA INTERNATIONAL JAPAN 株式会社（以下「CAIJ」という。）への最大の出資者として参加することになった企業が事業の中心になっているように感じられる。この企業は設立されて間もなく、実態が不明であり、当該企業の信用力を客観的に示してもらう必要がある。
- 資金ストラクチャーが複数回変わっており、今後も変わってしまう可能性があるのではないか。
- レターの宛先が実際の資金拠出先と異なっている点については、その理由を確認したい。
- ✓ ご指摘いただいた点を踏まえ、ヒアリングで確認していく。
- 主幹事行となった銀行は大手で信用力もあるが、他のアレンジャーと競合する立て付けとなっており、アレンジャーとして強い責任を負わず、関与が弱くなっている可能性が高い。結局のところ、資金調達の確実性は資金拠出者のコミットメ

ントの度合いに左右されると思われる。

- ヒアリングには、申請者側の出席者として誰を想定しているか。
- ✓ 昨年は県幹部、CAIJの役員に出席いただいた。成果あるヒアリングとなるよう、ある程度の意思決定権を有する者に出席いただくことを検討している。

ヒアリングを実施することについて委員了承となった。

以上